

No. 03	2025 年 12 月 14 日
待降節・アドベント 第三主 日 礼 拝	
説教『恐れずに受け入れなさい』	
吉 丸 初 美 師	
司 会 大 野 友 子 さん	
奏 楽 自 動 演 奏 機	
招 詞 I コリント人手紙 4章4～5節	
主 祈 ( 5 6 4 )	
讃 詠 5 4 6	
交 読 詩 編 詩 2 8 編	
祈 禱	
讃 美 歌 21 - 2 3 5	
使 徒 信 条 ( 5 6 6 )	
聖 書 マタイ福音書 1章18～25節	
説 教 ( 口 語 訳 1 頁、新 共 同 訳 1 頁 )	
『 恐れずに受け入れなさい 』	
祈 禱	
讃 美 歌 21- 2 3 7	
献 金	
感 謝 告	
報 栄 5 4 3	
頌 禱	
後 奏	
次週の礼拝( 降誕祭・クリスマス主日礼拝 )	
説教『 今日、救い主が生まれた 』	
ル カ 福 音 書 2章1～20節	
招詞 ピリピ4章4～7節/ 交読詩篇89編	
讃美歌 546、21-231、21-241、539	
礼 拝 当 番	
今週 14 日 司会 大 野 友 子 さん	
次週 21 日 司会 市 川 真 美 恵 さん	
会 堂 清 掃 奉 仕 1 月 11 日 ( 日 )	
コーヒータيم後行います。	

本 日 の 集 会				
★教 会 学 校 午前9時45分～				
★コーヒータيم 礼 拝 後 ～				
それぞれの思いを語り合しましょう。				
●レコードコンサート 13時～15時30分				
ワグナー & R.シュトラウス/管弦楽曲集				
お誘いあわせの上是非ご参加ください。				
今週の集会/スケジュール				
★聖書を読む会 12月16日(火)10時30分～12時				
❖めぐみ幼稚園お弁当終わり 12月16日(火)				
❖めぐみ幼稚園クリスマス礼拝・祝会 12月18日(木)				
ページェントを行います。毎日練習してきた成果が				
出せるように、お祈り下さい。				
❖めぐみ幼稚園二学期終業式 12月19日(金)				
2026年始業式は1月8日(木)です。				
次週以降のスケジュール等				
★クリスマス祝会 12月21日(日) 礼拝後行います				
軽食・お菓子、ピアノとハーモニカコンサート				
プレゼントあります。参加費600円高校生以下400円				
\$ 広島拘置所 クリスマス会 12月24日(水)10時～				
\$ 広島拘置所教誨奉仕 12月24日(水)13時30分～16時				
施設にある方の信仰生活を覚えてお祈り下さい。				
★燭火讃美礼拝(キャンドルサービス) 12月24日				
(水)19時～教会堂で行います。				
\$ 山根由美子さん1年記念会 12月27日(土)12時～				
▲ヒロシマハンドベルリンガーズ40周年記念コンサート				
ト 12月27日(土) 13時30分開場 14時開演				
お誘いあわせの上是非ご参加ください。				
◎ クリスマス特別献金 ◎				
神さまの恵みを感謝して、感謝と献身の祈りの				
中にクリスマス特別献金を捧げましょう。				
目標額 350, 000円				
先 週 の 集 会	男	女	計	
教 会 学 校	0	0	0	
主 日 礼 拝	2	6	8	

◇今週の説教要旨( 待降節・アドベント第三主日礼拝 )

『恐れずに受け入れなさい』 マタイ 1章18～25節

アドベント第三主日は喜びの中「恐れずに受け入れなさい」と招かれています。私たち人間の基本的な四つの感情は喜怒哀楽と言われています。その中に「恐れる」という感情は入っていません。それはこの四つの感情の根本的で深い感情だからだと理解されます。私たちは、自分の生活を脅かすものを恐れます。それは人間が生きている限り持つものです。しかし聖書はこう言います。恐れの原因は世界の混乱以上に、人の罪による暗闇であると。今日の箇所はイエス様の誕生は通常の方法とは違う超自然的な方法だったという報告から始まります。ヨセフの婚約者マリアは、聖霊によって身ごもったことを伝えました。それを聞いたヨセフは悩みます。彼はマリアを愛していたので彼女をさらしものにしたくない。だから密かに離縁しようと思いました。そして、彼は恐れていました。そこに天使が現れ彼の恐れに対して、ただ励ましではなく先ず救いの事実を告げます。マリアが生む子は「自分の民をその罪から救う」と言う宣言はヨセフの恐れの中に響きました。これは救いの核心そのものです。彼の抱えた恐れの中には、人間が誰も避けて通れない罪の現実がありました。だからこそ神は、恐れの中に救いの福音を響かせてくださったのです。では罪とは何か。それは私たちが神と共にいない状態であり、私たちが神から離れている状態のことです。神はその状態をイエス様によって変えようとされます。この子によって私たちを罪から救うためです。イエスという名は「主は救う」を意味します。「インマヌエル」「神は私たちと共におられる」と呼ばれるようになるこの子を通して、神はご自分が私たちのそばにいることをはっきり示し「わたしのもとに帰りなさい」と私たちを招いておられます。ヨセフは正しい人でした。それでも、自分で決断しようと、神から離れた時がありました。「恐れず妻マリアを迎え入れなさい」天使は二人を結婚させました。彼はその子をエスと名付け、自分の子と認めます。イエス様はダビデ家に迎えられました。信仰とは恐れの中での一歩だけではなく、恐れの中でも神から離れず歩み続けることです。